

編集後記

昨年度は、殊の外寒い年末年始を、おくれたが、本年は、この調子でいくと暖かい日が続きそうである。

扱て、「国語国文学」の26号を、お届けすることになったが、26回目をかぞえて、毎年より充実したものと、向上をめざしてはいるものの、はたしてどの位、実質的になったかと思うと、心もとなない次第である。しかし、一方、各々の人生・各々の歩みということもあろうかと思いつつ、努力しつつ、年を重ねていく以外、方法も有るまいかと思う。

◇本年春に、長い間当学会の会長を、おつとめいただいたおりました、米田貞一先生が、他界なさいました。衷心より追悼を申し上げます。「その人が何であるかは、その人が何を為したかによって、決まる」という言葉を想起しています。なお、会長の後任を、学会設立の当初から深く係わっておられました、古庄ゆき子教授に、お願いしました。

◇近年投稿がすくなくなりつつありますので、御投稿下さい。

(安東記)

別府大学国語国文学 第二十六号

昭和五十九年十二月三十日

発行者 古 庄 ゆ き 子

発行所 別府市北石垣八二

別府大学国語国文学会
電話(〇九七) 〇〇二二番

印刷所

別府市亀川東町四一〇〇
つちや 軽 印 刷
電話(〇九七) 〇〇六六番